



授業のヒント

じゆ ぎょう

テーマ

“ドキドキ”体験・交流活動を通じて日本語を学ぶ

目的 もくてき
日本語でのコミュニケーションの楽しさを実感し、「日本語でできた」という自信をつける
学習者のタイプ がくしゅうしや
初級後半～
クラス的人数 にんずう
40人

◆体験・交流活動を通じて

日本語を総合的に学ぶ

関西国際センター発行の『日本語ドキドキ体験交流活動集』（以下、『ドキドキ』）は、日本人との交流や体験を通して総合的な日本語学習ができるようデザインされていることが特徴です。海外では日本語を使う機会がないという声を聞きますが、「日本語でできた！」という実感は学習のモチベーションを高める上で大切なもの。日本であれ海外であれ、アイデア次第で日本人と交流したり体験したりすることは可能です。海外でのそのような実践例の1つが、日本人に出身地について聞く「ふるさとインタビュー」活動です。観光地で日本人に声をかける、日本と関係がある機関を訪問する、日本人にゲストとして教室に来てもらうなどのバリエーションがあります（西野 2012）が、今回はどの現場でも実践しやすい、日本人ゲストを教室に招くタイプをご紹介します。

◆準備→活動→まとめの3つのステップ

この活動には3つのステップがあります。

教室で準備する まよひ	必要な日本語表現と行動のストラテジーを身につける	1.タスクの説明 2.地理ガイド 3.語彙・場面会話
体験・交流する たいけん とうりゅう	現実場面でタスクを遂行するために日本語を使う	ゲストとして招いた日本人にインタビュー
教室でまとめる まよひ	見聞きしたことを日本語で表現してまとめる	1.ペアで報告 2.グループ発表 3.報告の作文

【教室で準備する】

インタビューシート

- 名前（ニックネーム） _____ さん
- _____ に _____ 住んでいる / 住んでいない（旅行など）
- ふるさと _____
(都・道・府・県)
_____ 市
- ふるさとで一番有名な所（観光地） _____

- ふるさとの名物料理 _____
- ふるさとのことば（方言） _____
(意味: _____)
- ふるさとのいいところ _____

1. タスクの説明 (15分)

まず、タスクシートを配り、目的と流れを説明します。タスクは、①名前（またはニックネーム）、②ふるさと、③ふるさとの有名なところ（観光地）、④ふるさとの名物料理、⑤ふるさとのことば（方言）と意味、⑥ふるさとのいいところについて日本人から情報を得ることです。日本人と一緒に写真を撮るなどのタスクを加えることもできます。

2. 「日本の地理」ガイド (30分)

インタビューの前に、日本の地理や気候について基本的なことを学びます。例えば、都道府県の数や名前、山や海、川などバラエティ豊かな地形、日本の季節の特徴などについて写真を交えて紹介します（『ドキドキ』Nipponガイド「日本の地理」も利用できます）。このガイドを通じて、学習者は「インタビューする人のふるさとはどんなところだろう」というワクワクした気持ちになります。

3. 語彙・場面会話の練習 (45分)

インタビューに必要な語彙や会話を練習します（『ドキドキ』内、「インタビューの練習をする」(p54-55) も利用できます）。練習ができれば、日本人の話が聞き取りにくい時はどう言うかなど確認しておくことで学習者の不安も和らぎます。

準備 インタビューの練習をする
Interview practice

① 話しかけて自己紹介する Speaking to someone and introducing yourself

すみません。ちょっといいですか。
Excuse me. May I ask you something?

あ、この方の 方ですか。
Do you work here?

わたしは タイから 来ました。
学 日本語を 勉強して います。
ちょっと インタビューしても
いいですか。
I came from Thailand. I am studying
Japanese language.
May I have an interview with you?

② 有名な所、食べ物について聞く Asking about a famous place and food

ええと、じゃあ、まず ここで
一番 有名な 所は どこですか。
First, where is the most famous place here?

いいですね。じゃあ、食料情報は
何ですか。
That sounds good. Well then, what dish do
you recommend?

へえ、どんな 料理ですか。
What is Japanese food?

じゃ、食べて みます。
Oh! I must try that.

③ 方言を教えてください Asking about dialect

じゃあ、次に 方言を 一つ 教えて
ください。
Secondly please give me an example
of your area dialect.

どういう 意味ですか。
What does it mean?

へえ、おもしろいですね。
Oh, I like it.

④ 町の好きな所を聞く Asking about the good point of the town

あの、じゃあ、最後に この 町の
いい 所は どの 所ですか。
Lastly what is the good point of your town?

⑤ インタビューを終わる All information task

そうですか。
ありがとうございます。
I am. Thank you very much for your
cooperation. It was a lot of fun.

う方言があります。これは「はい」という意味です。最後に、あきたけんのいいところを聞きました。緑が多いし、水もきれいだし、めずらしい植物や動物がたくさんいることです。インタビューはとてもいい経験でした。〇〇さんはゆっくりせつめいしてくれました。

添削を通じて、教師は一人ひとりの日本語のレベルに合わせて適切な日本語を指導します。

◆体験・交流活動を取り入れるメリット

この活動はどのレベルの人も「楽しい」のが特徴です。インタビューは主に事実について聞くものなので初級でも取り入れやすく、上級の場合は、教科書にない生の情報を詳しく得られることが多いです。学習している日本語を使い、交流相手を通じて日本について新しいことを知った喜びは、日本語でのコミュニケーションがもたらす楽しさの1つです。また、この活動は1人でもグループでもできますが、グループの場合は会話を始める度胸がある人、コンピューター操作が得意な人など、いろいろな人が自分の強みを生かして活躍し、タスクを遂行できます。これは活動型のいいところですよ。

◆あるものを活用してやってみよう

教師にとって、忙しい毎日の中でゼロから活動をデザインし、教材を作るのは大変です。関西国際センターが運営しているウェブサイト「KCクリップ」(<http://jfk.jp/clip/>)では、今回ご紹介したような『ドキドキ』のバリエーション教材(<http://www.jfk.jp/clip/activity/fieldtrip.html>)や発表スライド用のひな形(<http://jfk.jp/clip/activity/fieldtrip.html>)、実践報告(<http://www.jfk.jp/clip/activity/related.html>)などが多数紹介されていて、誰でもダウンロードして使うことができます。すでにあるものを活用して楽しい時間をデザインしてみませんか。

参考資料

国際交流基金関西国際センター (2008) 『日本語ドキドキ体験交流活動集』(凡人社)

西野藍・川嶋恵子(2010) 「国際交流基金レポート12 体験交流活動を通じた学習のデザイン」 『日本語学』 Vol.29, No.13, pp98~107, 明治書院

西野藍(2012) 「タイにおける「体験交流活動型日本語学習」の実践と教師支援」 『国際交流基金バンコク日本語センター紀要』 第9号, pp99~108

【体験・交流活動】(30分~1時間)

準備ができればよいインタビュー活動です。日本人1人につき学習者5~6人のグループにするとバランスがよいです。活動の間、教師は少し離れて見守ります。学習者が自分たちの力でタスクが達成できたという実感を得ることが大切だからです。

【教室でまとめる】

1. 別グループの人に口頭で報告 (20分)
インタビューが終わったら、別グループの人とペアになって結果を報告します(『ドキドキ』内「インタビューの結果を発表する」(p58)とWorksheet (p60) も利用できます)。
2. 発表準備 (50分) とグループ発表 (50分)
グループごとに結果を発表する準備をします。発表の内容を決めて、原稿を書いたり、インターネットの画像や写真を取り込んだスライドを補助資料として作成したりします。スライドは、教師がひな形を作っておき、そこに文字や写真を入れ込むだけにすると、短時間で完成できます。準備ができたならクラス内で発表です。視覚資料があるので聞いている側の興味が増し、質疑応答も活発になります。
3. 体験報告の作文 (宿題)
最後に個人で体験報告の作文を書きます。これは、その一例です。

私たちは〇〇さんにインタビューしました。〇〇さんのふるさとにはあきたけんです。あきたけんで有名な所について聞きました。一番有名な所はたざわこ(みずうみ)です。また、あきたけんの名物料理は「きりたんぼなべ」と言う料理です。きりたんぼは、米から作られます。作り方はきりたんぼと野菜や肉をなべに入れて、おしょうゆあじにします。それから方言について聞きました。あきたけんに「んだ」と言

このコーナーの担当者：西野 藍(関西国際センター日本語教育専門員)

読者のみなさんからのアイデア、成功例、失敗例などぜひお寄せください。